

神戈陵を渡る風2

令和4年度 川辺高校 校長通信 第076号(通算)

令和4年11月4日(金)発行

ついに11月となり、今年も残すところ2ヶ月となりました。秋も大分深まり、そろそろ冬を感じる日が多くなります。私は、この時期の暖かい日射しに溢れる晴れの日(小春日和)が大好きです。こんな日は、少し遠出をしてでも散歩(ウォーキング)に勤しみたいものです。そして、朝のヒンヤリと冷たい空気と昼のポカポカと暖かい空気を満喫したいものです。

芸術鑑賞会

令和4年10月27日(木)

今年の芸術鑑賞会は、音楽ステージで、Rant&Rave Steel Orchestra に来ていただきました。この団体は、トリニダード・トバゴの民族楽器であるスティールドラム(スティールパン)といわれるドラム缶でできた音階のある打楽器を演奏するグループです。異国情緒溢れる音楽をみんな楽しんでいました。



1年生の参加者



ワークショップ参加者の本番前のリハーサル



みんな
ノリノリで
楽しみました



ステージが始まりました



生徒会長からのお礼の言葉



司会をされた方は、元知覧中の先生がいらっしゃいました。



生徒会副会長による花束贈呈

スティールパンの繊細な響きや迫力あるSoundを全身で楽しみ、最後は立ち上がってダンスをして終了しました。今回の芸術鑑賞会は、スティールパンオーケストラを全身で堪能できたよい機会だったと思います。



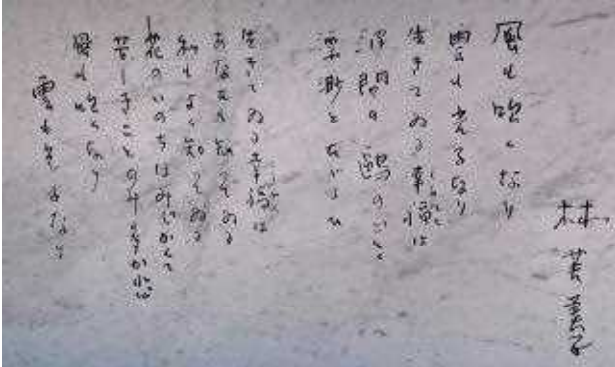
2年生の参加者

校長 散策 策

令和4年10月下旬

10月末には、出張で色々なところに行ってきました。秋の鹿児島と東京方面を散策してきたので紹介します。

林芙美子



桜島を望む城山観光ホテルの庭に長編小説「浮雲」を執筆したことで有名な作家の林芙美子の歌碑を見つけました。

風も吹くなり
雲も光るなり
生きてゐる幸福(しあわせ)は
波間の鳴のごとく
漂渺(*)とたぐよい

生きてゐる幸福(こふく)は
あなたも知ってゐる
私もよく知ってゐる
花のいのちはみじかくて
苦しきことのみ多かれど
風も吹くなり
雲も光るなり

(*)文中の漂渺は、縹渺(ひょうひょう)の間違い？

桜島にも林芙美子の歌碑がありますが、そこには彼女が晩年に好んで色紙に書いていた「花のいのちはみじかくて 苦しきことのみ多かりき」となっています。

しかし、【風も吹くなり 雲も光るなり】が加わることで印象が180度反転します。高校生の皆さんにとって、明るい未来を信じて頑張っ

て欲しいという願いをこめて紹介しました。

↓ (駅の南側にモニュメントがあります)



日本に鉄道が開通して150年たった現代には、全国に新幹線をはじめ多くの新しい車両が走っています。(長崎新幹線も一部区間ですが先日開通しました。)



東京駅では、色々なタイプの新幹線に出会えました。

(東海道新幹線、東北新幹線、上越新幹線、北陸新幹線など)

また、2027年にはリニア新幹線が東京～名古屋間で開通を目指して現在工事が進んでいるようです。新しい時代の鉄道到来がすぐ近くに迫っているようです。



← 埼玉県大宮市にある鉄道博物館にも行ってみました。今回は、鉄道開業150周年を記念する展示も多数ありました。



← 全国の国道の元標である日本橋の写真です。東京市の繁栄を願って麒麟の象が作られ、さらに、日本橋から飛び立つという意味を込めて翼が付けられました。